

救急対応の概要（黒崎消防署救急隊からの受講内容）

1. 倒れた方の周囲の安全を確認し、大声で安全確認と呼称し近づく。
2. 倒れた方の肩や胸のあたりを叩き、どうしたのですかと大声で確認する。
3. 意識が無いことを確認し、胸から腹を斜め上から 10 秒程度観察し、呼吸がないことを確認する。
4. 周囲の方を指名し、一人に AED を取りに行ってもらい、他の一人に「119」連絡をお願いする。
周囲をお願いする方がいない場合は自分が、まず「119」を行う。
5. 倒れた方に近づき、膝をついて（ひざが倒れた方に接触する程度近づく）両腕をまっすぐ伸ばし**みずおち（鳩尾）**の上（乳を結ぶ中央）を 100～120 回/分のピッチで強く圧迫（5 cm 程度押し込む）する。視線は倒れた方の反対側を見る程度。30 回繰り返す。
この行為は心臓を押し、血液を脳に送るために行う。救急対応でこの処置が一番重要である。酸素がなくなると脳は 3 分頃からえい死が始まる。
6. 30 回押しした後、顎を上げ気道を確保し、鼻をつまんで空気の抜けを防ぎマウスツーマウスで息を 2 回吹き込む。息の吹き込みは普通の呼吸程度で良い。
出来ればハンカチまたは布を唇の上に置き行う。
7. 再び胸の圧迫を 30 回行い、マウスツーマウスで息を 2 回吹き込む。これを AED が届くまで行う。
8. AED が届いたら胸の圧迫、息の吹き込みを続けながら AED の準備をして頂く。
9. AED 操作は AED から発せられる指示に従って行う。
主な手順 1) AED の箱を開く。2) 青の電源を入れる。3) 電極パッドをパッドに記載されている絵の位置に張り付ける。4) 電極パッドのコネクターを AED へつなぐ。5) AED からはなれてくださいとの指示がある。この時 AED を持ってきた方は心臓圧迫をしている方へ大声ではなれてくださいと伝え自分も離れる。はなれる距離は 50 cm 程度で良い。6) AED 自動診断開始。6) AED のスイッチオン指示があるのでスイッチオンする。7) EDA 終了の合図がある。8) AED は 2 分毎に自動的に診断開始。
9. 再び胸の圧迫、息の吹き込みを続ける。
10. 北九州市の救急車が現場に到着する時間は平均 6 分である。救急車が来て救急隊が作業を引き継いで頂くまで胸の圧迫、息の吹き込みを続ける。
11. 救急車が来られない場所であれば可能な限り胸の圧迫、息の吹き込みを続けるがこの行為は相当体力的にも厳しいので、交代要員がおれば交代する。
一人の場合は、自分の体力と相談し、可能な限り続ける。